

## 県民の機運を高めていく取り組みについて（案） （県民の皆さんの参画を促す観点から）

### 第3回運営委員会で出された主な意見

- 市町村等の活動を積極的に発信して機運を高められるよう、県（推進協議会）がメディアへの情報提供の橋渡しをしてはどうか
- 宅配に使用される段ボール箱に博覧会ロゴを印刷するなど、県民の方が日常的にふれるものとタイアップして露出を高める工夫をしてはどうか
- 花の植栽活動について、幼稚園等や小学校にも活動を呼びかけてみてはどうか
- 牧野博士の功績に関して、特に県内の子どもたちにおける認知度を高めるため、教育現場をはじめ「世界的な植物学者」であることを強く啓発・PRしてはどうか  
等

### <参考1> 博覧会推進協議会及び観光振興部での取り組み状況

- ① 花の植栽や美化活動 ※ \_\_\_\_\_は既に進行中のもの
  - ・ 主な観光施設等への花プランターの設置（農業高校と連携）
  - ・ 県及び全市町村の「秋のおもてなし一斉清掃」参加者への花の種の配付
  - ・ 市町村と連携した記念植樹
- ② 情報発信
  - ・ ポスター、のぼり旗、博覧会関連パンフレットの制作、主要施設での掲出
- ③ ガイドの養成やイベント
  - ・ 草花ガイド養成講座の実施
  - ・ 草花スポットでのウォーキング等参加型イベントの実施
- ④ その他の取り組み
  - ・ 博覧会のロゴマーク作成と活用の呼びかけ
  - ・ おもてなし県民会議での「おもてなし宣言」等で機運の醸成

### <参考2> 県庁内ワーキンググループでの取り組み状況

- ・ 県立施設での花壇やプランターの配置
- ・ あったかふれあいセンターや老人クラブ等による花の植栽活動等の促進
- ・ 集落活動センターでの花関連イベントの実施
- ・ 高校生を対象とした「花いけバトル」と連携した情報発信
- ・ 県の広報（さんSUN高知やおはようこうち等）での発信
- ・ 高知家プロモーションにおける地域活動の情報発信
- ・ 県立高校と連携した地域貢献活動の促進
- ・ 県民による情報発信